ボーリング柱状図

調　査　名	早良(重留3丁目)外地区土質調査業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	0	3	0	2	2	4	7	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	重留3丁目No.1	調査位置	福岡市早良区重留3丁目地内			北緯	33° 32' 05.0000"
発注機関	福岡市道路下水道局建設部西部下水道課	調査期間	平成27年11月27日～平成27年11月28日			東経	130° 20' 43.0000"
調査業者名	地盤コンサルタントNOGAMI 電　話 092-629-2364	主任技師	野上文幸	現場代理人		コア鑑定者	野上文幸
ボーリング責任者	吉田安昭						

孔口標高	37.22m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-0	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマーNFD10-K	ポンプ	BG-3C

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	36.97	0.25	0.25		埋土(礫	灰			上部7cmはアスファルト舗装(黒)。以下は砕石(灰)
	36.82	0.15	0.40		埋土(砂	灰			粗粒砂。
1					埋土(シルト混り砂)	黄褐	非常に緩い		まさ土を主とした埋土でシルト混り砂状。φ20～50mmの礫が20%程混じる。所によりφ100～200mmの大礫が点在する。
2	34.87	1.95	2.35						
3					埋土(礫混りシルト質砂)	暗青灰	非常に緩い		礫は最大φ30mm、大部分はφ10mm以下で20～30%程度含む。シルト分もやや多く含み、やや粘性がある。手で握ると塊となる。全体に不均質。4.85m付近には木片及びアスファルト塊が混入する。
4									
5	31.42	3.45	5.80						
6					風化花崗岩	淡黄褐～淡褐灰			上部は強風化しており軟らかくシルト質砂状。下部になるに従って急激に硬く締まった状態となり、シルト混り砂状から礫混り砂状となる。石英はφ5mm以下で残留する。
7									
8	29.22	2.20	8.00						
9									
10									
11									
12									
13									

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.65	1	1		2	2							11/27
		1.95	17	13		30								
		2.15	1	2	2	5	5			2.15	p1-1	Ⓟ	比重 含水 粒度	
		2.45				30				2.35				
	11/28 3.30	3.15	1	1	1	3	3			3.15	p1-2	Ⓟ	比重 含水 粒度	
		3.45				30		3.50	現場透水 k=4.08E-8	3.45				
		4.15	1	1		2	2	4.00						
		4.45	15	15		30								
		5.15	1	2	2	5	5							
		5.45				30								
		6.15	1	1	2	4	4							
		6.45				30								
		7.15	5	7	12	24	24							
		7.45				30								
		8.15	15	18	17	50	50							11/28
		8.43			8	28								

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。